

## 中期経営計画における経営目標・経営指標の進捗状況

法人名等		目標の内容・実績			
<b>【法人名】</b> 公益財団法人 埼玉県下水道公社	目標	全水循環センター放流水の平均BOD値 【令和2年度目標】 3mg/ℓ以下 【令和3年度目標】 3mg/ℓ以下 【令和4年度目標】 3mg/ℓ以下	温室効果ガス排出量の削減 【令和2年度目標】 平成17年度比△29% 【令和3年度目標】 平成25年度比△19%以上 【令和4年度目標】 平成25年度比△25%以上	運転の工夫等によるコスト削減 【令和2年度目標】 △5,800万円以上 【令和3年度目標】 △1億1,100万円以上 【令和4年度目標】 △1億2,800万円以上	普及啓発事業参加者 【令和2年度目標】 施設見学会及び移動下水道教室参加者 8,000人以上 【令和3年度目標】 公社HP・SNS閲覧者及び各種イベント参加者 17万人以上 【令和4年度目標】 公社HP・SNS閲覧者及び各種イベント参加者 17万人以上
	各年度の実績	【令和2年度実績】 2.3mg/ℓ 【令和3年度実績】 2.5mg/ℓ 【令和4年度実績】 2.3mg/ℓ	【令和2年度実績】 平成17年度比△31.7% 【令和3年度実績】 平成25年度比△24.7% 【令和4年度実績】 平成25年度比△27.9%以上	【令和2年度実績】 △8,918万円 【令和3年度実績】 △1億3,610万円 【令和4年度実績】 △2億2,418万円	【令和2年度実績】 0人 ※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、施設見学会等を中止。 ※公社HP・SNS閲覧者及び各種イベント参加者17万8,829人 【令和3年度実績】 18万4,735人 【令和4年度実績】 21万2,808人
	法人による自己評価	流入する下水の状況が季節や天候により変化することに合わせ、反応タンク内の酸素濃度や微生物の量を調整し、良好な放流水質の確保に努めた。 この結果、令和2年度～4年度の平均BOD値については、全て目標を達成した。	自然運転(汚泥そのもののエネルギーで汚泥を燃焼)による燃料や電気の使用量削減、高温焼却(焼却炉の温度を850℃以上にコントロール)による一酸化二窒素の発生抑制、汚泥の消化による焼却ケーキ量の削減など、様々な取組で温室効果ガスの削減に努めた。 この結果、令和2年度～4年度の温室効果ガス排出量については、全て目標を達成した。	水処理施設や汚泥処理施設の最適な運転や省エネ機器への更新、自然運転などにより、燃料費や電気料・薬品費等のコスト削減に努めた。 この結果、令和2年度～令和4年度のコスト削減額については、全て目標を達成した。	ホームページやTwitter、InstagramなどのSNSによる情報発信を積極的に行い、令和4年度は、ARを活用した「第3回埼玉下水道検定クイズ」の実施や、バーチャル下水道施設見学の公開などに取り組んだ。 この結果、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため施設見学会等を中止した令和2年度を除いて、令和3年度及び令和4年度の公社HP・SNS閲覧者及び各種イベント参加者数については、目標を達成した。
<b>【中期経営計画の期間】</b> 令和2年度～令和4年度					